

科目ナンバリング： TOKU3  
 授業形態： 講義  
 科目名： 特別支援教育総論  
 担当教員： 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka)

【授業の紹介】

特別支援教育の理念と教育制度の変遷及びその実際について理解し、特別支援教育の対象となる幼児、児童及び生徒の特性や配慮の視点、求められる環境構成について学校及び学級経営の基礎的な知識を獲得する。また、幼児、児童及び生徒が主体的に学習活動に参加し、達成感とともに生きる力を高めることを目指し、個別の教育的ニーズに応じた工夫の仕方、他の教員や関係機関と効果的に連携して組織的対応をするための方法を理解する。本授業によって、インクルーシブ教育システム構築に求められている教育者としての基礎的な力の形成を目指します。本授業では、ICTを活用して、グループワークの結果をプレゼンテーションし、ディスカッションを行います。ICT端末を携帯して授業へ参加してください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	1. 教育・保育に携わる者に求められる高い使命感・倫理観や豊かな心を持っている。
		2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	多様な人材との協力・協働	5
		専門的知識と実践力	5

## 【到達目標】

- 1【特別支援教育の理念と特別支援学校に関する制度との相互の関係を理解する。】
  - (1)特別支援教育制度の成立と障害者の権利に関する条約に基づくインクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育への展開を理解している。
  - (2)特別支援教育制度における特別支援学校が有する機能・役割を理解している。
- 2【障害のある幼児、児童又は生徒の教育に関する歴史、特殊教育の果たしてきた役割や障害者施策を巡る動向の変化を踏まえつつ、現代に至るまでの特別支援教育の基本的な考え方及び特別支援学校の変遷を理解する。】
  - (1)障害のある幼児、児童又は生徒の教育に関する歴史、特殊教育の果たしてきた役割や障害者施策を巡る動向の変化を踏まえつつ、特別支援教育制度の成立と展開を理解している。
  - (2)現代社会における特別支援学校における教育課題を歴史や障害者施策の視点から理解している。
  - (3)特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画、個別の移行支援計画の位置づけを理解し、作成する計画の活用方法を理解することができる。
  - (4)特別支援教育コーディネーターや補助員、関係機関や家庭等と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解し、求められる多機関・多職種連携の課題と特徴を例示することができる。
- 3【特別支援教育の思想と特別支援教育の理念や実際の特別支援学校の教育との関わりを理解する。】
  - (1)障害のある幼児、児童又は生徒に関わる教育の思想を理解している。
  - (2)特別支援学校や学習に関わる教育の思想を理解している。
- 4【社会の状況を理解し、その変化が特別支援学校の教育にもたらす影響とそこから生じる課題、並びにそれに対応するための教育政策の動向を理解する。】
  - (1)特別支援学校を巡る近年の様々な状況の変化及び子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を理解している。
  - (2)近年の特別支援教育政策の動向を理解している。
- 5特別支援学校の公教育制度を構成している教育関係法規を理解するとともに、そこに関連する特別支援学校教育要領・学習指導要領が有する役割・機能・意義を理解する。
  - (1)特別支援学校の目的及び教育目標と国が定めた教育課程の基準との相互関係を理解している。
  - (2)特別支援学校教育要領・学習指導要領の性格及びそこに規定する自立活動や知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科、重複障害者等に関する教育課程の取扱いの基本的な考え方を理解している。
- 6【特別支援学校や教育行政機関の目的とその実現について、経営の観点から理解する。】
  - (1)特別支援学校の目的や教育目標を実現するための学校経営の望むべき姿を理解している。
  - (2)幼児、児童又は生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を踏まえた学級経営の基本的な考え方を理解している。
  - (3)教職員や学校外の関係者・関係機関との連携・協働の在り方や重要性を理解している。

## 【成績の評価】

試験成績(60%)、レポート及び小テスト(30%)、授業中の質問や意見等の活動状況(10%)、レポートや小テストについては毎回の授業毎に教員の講評を行うことによってフィードバックします。定期試験結果のフィードバックは教務係を通して行います。具体的な方法については講義中に案内します。

## 【使用テキスト】

新・教職課程演習 第6巻 特別支援教育,米田宏樹,川合紀宗著,協同出版

## 【参考文献】

適宜,授業で紹介する。

## 【実務経験】

無し

## 【実務経験と授業科目の関係性】

## 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育の理念と歴史、その思想に基づく仕組みの理解と幼稚園等・小学校・中学校・高等学校(中等教育学校)・特別支援学校における特別支援教育の社会的、制度的又は学級等の経営的事項に関する理解	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
2	知的障害・肢体不自由のある幼児児童生徒に対する教育の理念及び歴史、支援の実際における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
3	視覚障害・聴覚障害・言語障害のある幼児児童生徒に対する教育の理念及び歴史、支援の実際における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
4	自閉症スペクトラム障害のある幼児児童生徒に対する教育の理念及び歴史、支援の実際における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
5	ADHD・LD等の障害のある幼児児童生徒に対する教育の理念及び歴史、支援の実際における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
6	病弱・情緒障害・その他の障害のある幼児児童生徒に対する教育の理念及び歴史、支援の実際における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
7	特別支援教育コーディネーターと校内支援体制の構築に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
8	自立活動に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
9	通級による指導に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
10	個別の指導計画・個別の教育支援計画と個別の移行支援計画に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(1時間)。	
11	特別なニーズのある子への対応に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
12	保護者支援と家庭との連携に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
13	特別支援教育における関係機関との効果的な多職種連携に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
14	特別支援教育における学級運営と障害理解教育に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
15	特別支援教育におけるICT活用とインクルーシブ教育に関する歴史・理念及び思想の理解と実践における社会的・制度的・経営的課題と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(1.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(2.5時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU4  
授業形態： 演習  
科目名： 特別支援教育演習  
担当教員： 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka)

#### 【授業の紹介】

特別支援教育演習は、特別支援教育を必要とする幼児・児童・生徒の特徴やその支援の概要について総合的に学び、特別支援学校の授業形態や指導方法の実際を学ぶとともに、特別支援教育の指導形態に応じた学習指導の工夫について演習を通じて学びます。特別支援教育を必要としている教育現場において求められる知識及び実践力の基礎を培います。

本授業では、ICTを活用して、フィールドワーク、グループワークの結果をプレゼンテーションし、ディスカッションを行います。ICT端末を携帯して授業へ参加してください。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

#### 【到達目標】

特別支援教育の実践者として求められる基礎的知識の基盤形成し、実践的技能の基礎獲得することを目指します。そのために、以下の到達目標を設定します。

1. 多様な障害のある子どもの基礎知識について説明できる
2. 特別支援学校教育の実際に触れ、個々の教育的ニーズに応じた指導について説明できる
3. 児童生徒の個々のニーズに応じた基本的な対応及び配慮事項を提案できる

#### 【成績の評価】

受講態度（30%）、課題の提出状況（70%）などを総合して成績を評価します。課題や学習の進捗状況に関する評価はその都度授業時に講評します。また必要に応じてオフィスアワーにおいて個別的にフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

新・教職課程演習 特別支援教育，川合紀宗他著，協同出版，2021.  
その他必要に応じて、資料を配布します。

#### 【参考文献】

必要に応じて、講義内で紹介します。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
2	特別支援教育とICF	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
3	特別支援教育の現状と動向	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
4	知的障害児の教育の概要と特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
5	肢体不自由児の教育の概要と特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
6	視覚障害児の教育の概要と特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
7	聴覚障害児の教育の概要と特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
8	重度・重複障害児の教育の特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
9	発達障害児の教育の概要と特性と教育支援 (1 : ASD)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
10	発達障害児の教育の概要と特性と教育支援 (2 : ADHD)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
11	発達障害児の教育の概要と特性と教育支援 (3 : SLD)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
12	その他の障害児の教育の概要と特性と教育支援	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
13	特別支援教育と自立の支援と工夫	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
14	特別支援教育と合理的配慮と環境調整	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
15	重要ポイントの確認と整理	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU5  
授業形態： 講義  
科目名： 知的障害児の心理  
担当教員： 中塚 勝俊(NAKATSUKA Katsutoshi)

#### 【授業の紹介】

知的障害のある子どもへの適切な教育的支援を実践するためには、子ども理解はもちろん保護者や子育てにかかわる人々と十分なコミュニケーションをとることができることが必要です。そのための基礎的知識を習得しその知識を基盤として教育・保育の実践を行う上で、多様な専門性を持った人材と協力・協働できることをめざします。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

#### 【到達目標】

- ・保育所や幼稚園、特別支援学校などにおける知的障害のある子どもの心理学的知識を理解することができる。
- ・その子にあった教育的支援・援助を実践するための方策を具体的に計画することができる。

#### 【成績の評価】

- ・成績の評価は、授業への参加度（15%）、ショート・レポート（15%）、定期試験（70%）の結果をもとに総合的に行います。
- ・ショート・レポートは授業時にコメントを付けて返却します。期末試験に関しては、個人的に研修室でフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

新保育士養成講座編纂委員会（編）『子どもの保健』（全国社会福祉協議会、2012年）  
湯浅恭正（編）『よくわかる 特別支援教育』（ミネルヴァ書房、2008年）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（障がいと問題行動）	知的障がい、発達障がいについて事前に調べそれぞれの特徴についての概要をノートにまとめておくこと。（2時間）授業中に示される資料を基に知的障がい、発達障がいの特性についてまとめノートに整理しておくこと。（2時間）	
2	知的障がいの定義（知能とI.Q.）	知能指数,E.Q.の基本的考え方の違いについて文献などに目を通し概要をノートにまとめること。（2時間）知的障がい、発達障がい認められるとされている著名な文化人をリストアップし、彼らに共通する能力についてノートにまとめておくこと。（2時間）	
3	知的障がいの分類（ボーダー児の問題）	知的障がいのボーダーについての定義をまとめておくこと。（2時間）ボーダー児特有の困り感、福祉の問題をノートにまとめ提出すること。（2時間）	
4	知的障がい児のアセスメント	田中B式、WISCの知能検査を事前に調べその特徴をノートにまとめておくこと。（2時間） WISCの検査項目の言語性、動作性の知能の意味するものをまとめノートに整理すること。（2時間）	
5	言語のアセスメント（言語と思考）	知的障がい児の言語性知能の特徴についてまとめノートにまとめておくこと。（2時間） 知的障がい児の言語性知能の項目分析を行い、ノートにまとめておくこと。（2時間）	
6	社会生活のアセスメント（社会性の意味）	知的障がい児の社会生活における困り感の具体的な場面をノートにまとめておくこと。（2時間） 知的障がい児の困り感と合理的配慮について考えるところをノートにまとめておくこと。（2時間）	
7	学習支援	知的障がい児の学習支援の方法について調べノートにまとめておくこと。（2時間）授業中に提供される個別指導計画を参考にして自分の「計画」を試案しノートに文章化しておくこと。（2時間）	
8	言語獲得と社会的相互作用	言語障害の種類を調べ、それぞれの特徴についてまとめておくこと。（2時間）言語障害の支援・援助についてまとめノートに整理しておくこと。（2時間）	
9	言語調整機能	理解言語、表出言語の発達の特徴について調べ、ノートに記載しておくこと。（2時間） 理解言語、表出言語を伴う重複障がいについて整理しノートに記載しておくこと。（2時間）	
10	記憶の特徴	記憶の種類を事前に調べノートに整理しておくこと。（2時間）ワーキングメモリが知的障がい児において有効に作動するための方法についてまとめノートに記述しておくこと。（2時間）	
11	動機づけ	動機づけ理論目をを通し述べてある専門用語について調べ、ノートに整理しておくこと。（2時間）授業中に述べる外発的動機づけ、内発的動機づけの効用と限界についてまとめておくこと。（2時間）	
12	自閉症（高機能自閉症）	自閉症の行動特性を文献などで調べまとめて	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		おくこと。（2時間）高機能自閉症の特性と社会的資源の関係についてまとめて文章化したものを提出すること。（2時間）	
13	ダウン症	ダウン症について文献などで調べ、その特徴についてノートに整理しておくこと。（2時間） 授業中に提起されるかかわり方をヒントに自分で可能と思われる対応を文章にまとめること。（2時間）	
14	学習障害（LD）	学習障害についてしかるべき方法で調べ、その概要についてノートに記載しておくこと。（2時間）書字困難	
15	注意欠陥多動性障がい	ADHDの症状の特徴について調べ、その主なものについてまとめ文章化しておくこと。（2時間） ADHDへの教育的配慮を授業中の内容をヒントにまとめること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU6  
 授業形態： 講義  
 科目名： 知的障害児の生理・病理  
 担当教員： 宮崎 雅仁(MIYAZAKI Masahito)

【授業の紹介】

特別支援教育は身体や知的に障害を持つ子どもたちへの特別な教育支援プログラムである。その中で最近では単純な知的レベルに問題のある知的障害群に加えて知的障害の有・無に拘わらず行動や情緒に障害のある発達障害の子どもたちに対する社会的認知度の高まりにより、それを専門とする教員への期待度・必要性が増している。それに伴い、その教育に関与する教職員は子どもたちが持つ障害特性やその背後に存在する病態生理を十分に理解し、科学的根拠に基づき仁愛の念を持って対応する事が必要不可欠となる。本講義では特別支援教育に必要な定型的な子どもの成長・発達の知識から各障害の具体的な診断、治療、対処法までの内容を出来るだけわかり易く授業を実施する。その結果、知的障害や発達障害を持つ子どもたちの生理・病理を体系的に理解し、教育・保育の実践と関連付けて理解出来る能力を修得し、卒業認定・学位授与へと導く方針である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

【到達目標】

1. 子どもの定型発達を正しく理解出来る。
2. 特別支援教育を必要とする子どもたちの障害特性を充分理解出来る。
3. その知識を生かして子どもたちの持つ表面的な症状だけでなく、その背後に潜む病態生理を理解して科学的・医学的根拠に基づいた適切な対応が出来る。

【成績の評価】

毎回の講義の最後に実施する小テストの成績（15%）、中間習熟度チェック（5%）、定期試験（80%）の総合評価により判定する。  
 小テストの正答は当日解説する。その結果より学生自身が各授業の理解度を確認し、復習に役立てる。

【使用テキスト】

宮崎雅仁・編：脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために（医学書院、2012年）本体3500円（税別）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目であり、教員自身が小児科医としての小児医療や児童発達支援施設での経験や学校・園医として教育・保育機関で得た知見を活かして具体的な事例も含めた授業を実施する。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	子どもの成長・発達	使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」の関連ページを事前に予習（2時間）する。	特になし
2	知的・発達障害概論（総論的内容）	第1回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
3	発達障害各論（自閉症スペクトラム障害の病態生理）	第2回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
4	発達障害各論（自閉症スペクトラム障害の診断・治療）	第3回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
5	発達障害各論（注意欠陥/多動性障害の病態生理）	第4回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
6	発達障害各論（注意欠陥/多動性障害の診断・治療）	第5回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
7	発達障害各論（限局性学習障害の病態生理・診断・治療）	第6回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
8	発達障害各論（発達性協調運動障害、トゥレット障害の病態生理・診断・治療）	第7回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
9	知的障害各論（知的能力障害（脳性麻痺合併を含む）の病態生理・診断・治療）	第8回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
10	知的障害各論（染色体異常の病態生理・診断・治療）	第9回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
11	知的障害各論（てんかんの病態生理）	第10回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
12	知的障害各論（てんかんの診断・治療）	第11回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携	特になし

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	
13	知的障害各論（遺伝性疾患の病態生理・診断・治療）	第12回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
14	知的障害各論（代謝性疾患の病態生理・診断・治療）	第13回の授業最後に実施した小テストや授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（2時間）や予習（2時間）を実施する。	特になし
15	第15回 期末習熟度チェック（授業のまとめと質疑応答・意見交換）、定期試験	第1回～14回までの授業全般の使用テキスト「脳科学から学ぶ発達障害：小児プライマリケア/特別支援教育に携わる人のために」を用いた復習（4時間）を実施する。	特になし
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU7  
授業形態： 講義  
科目名： 病弱児の心理・生理・病理  
担当教員： 磯部 健一(ISOBE Kenichi)

#### 【授業の紹介】

本授業は、病弱児の種々の病気とこれらの子どもの心理状態を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育の実践と関連づけて理解し子どもの支援を目指す授業です。特に、病弱児に対しては個々の疾患を理解することが重要です。医療的な対応や支援が必要とされるので、多様な専門家の仕事を理解し、協力・協働できることも目指します。医学・医療、心理の立場から多面的に映像的な実症例などの資料としてスライドを使用して講義を行います。また、病弱児の主要な疾患について6～8回のグループワークとプレゼンテーションを行うことにより、知識を幅広く理解し実践力を修得します。  
この授業では、Google Classroom(クラスコード：34y2ivg)を使用して参考資料などを配布することができます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

#### 【到達目標】

1. 病弱児・虚弱児について理解し説明できる。
2. 多様化、重度化しつつある病弱児の主要な疾患について具体的に理解できる。
3. 病弱児への対応や支援に関する他職種との協力・協働について理解できる。

#### 【成績の評価】

学習態度(10%)、グループレポート(20%)、各自の提出レポート(70%)の結果により総合的に判断します。グループ発表時に各疾患についての解説を行います。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説します。

#### 【使用テキスト】

使用しません。  
授業者が作成した資料を講義テキストとします。

#### 【参考文献】

宮本慎也、土橋圭子 編著『病弱・虚弱児の医療・療育・教育』（金芳堂、2015年）  
及川郁子監 伊藤龍子、及川郁子編『小児慢性特定疾患療養育成指導マニュアル』（診断と治療社、2006年）  
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所著『特別支援教育の基礎・基本 新訂版』（ジヤース教育新社、2015年）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	総論（病弱・虚弱児の定義、病弱児教育の歴史）	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次の授業の前に提出する。（2時間）	
2	病弱児教育の意義（病弱児教育と対象疾患）	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次の授業の前に提出する。（2時間）	
3	病弱児教育（病弱児教育の仕組み）	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次の授業の前に提出する。（2時間）	
4	グループ発表（神経疾患、循環器疾患）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
5	グループ発表（心身症 - 1：摂食障害、起立性調節障害、夜尿症）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
6	グループ発表（心身症 - 2：チック症群、過敏性腸症候群、過換気症候群）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
7	グループ発表（精神疾患）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
8	グループ発表（慢性疾患）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
9	グループ発表（内分泌疾患）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
10	グループ発表（血液疾患、膠原病）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
11	グループ発表（先天異常など）	授業時に病弱・虚弱児に関係する事柄や疾患等（前もって提示）について質問するので、図書館等で調べノートにまとめること。また、病弱・虚弱児の主要な疾患をグループ毎に割り当てるので、グループ発表とレポートの提出を義務付けます。（予習と復習は、各々2時間行うこと）	
12	小児の感染症、感染予防とスタンダードプレ コースション	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次回の授業の前に提出する。（2時間）	
13	愛着形成	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次回の授業の前に提出する。（2時間）	
14	病弱・虚弱児の医療的ケア	予習として、授業計画で指定する範囲を図書館等で調べ、ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の講義資料から提示されるキーワード5個について調べ、次回の授業の前に提出する。（2時間）	
15	まとめ：要点の整理・質疑応答	講義内容の要点を資料として配布する。質疑応答を行うのでまとめたノートを持参すること。（予習と復習で各々2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU8

授業形態： 講義

科目名： 肢体不自由児の心理・生理・病理

担当教員： 磯部 健一(ISOBE Kenichi),川田 人包(KAWATA Hitokane)

### 【授業の紹介】

本授業科目では、(1) 肢体不自由の概念を明らかにしたうえで、医学的な観点からは、人間行動の成り立ちと肢体不自由、身体のおくみとその生理と病理を理解し、肢体不自由の原因と主な起因疾患については3回のグループ発表を行います、(2) 心理学的な観点からは、肢体不自由と発達の関係、肢体不自由児の感覚・知覚、運動・動作、コミュニケーション、肢体不自由児への心理的支援について考えます。これらを通じて、医療、療育、心理などの多様な専門家との協力・協働を理解し、特別な支援を必要とする子育てを支えるための理論と実践力を身につけることを学びます。なお、授業は、生理・病理の領域を磯部が担当し、心理の領域を川田が担当して行います。

この授業では、Google Classroom(クラスコード：ib7vs4t)を使用して参考資料などを配布することがあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	思考力・判断力・表現力	5
		専門的知識と実践力	5

### 【到達目標】

1. 肢体不自由児の主要な疾患や肢体不自由児の心理・生理・病理を理解することができる。
2. 理論と実践力を身につけ肢体不自由児に適切な支援ができる教員としての資質を培うことができる。

### 【成績の評価】

学習態度(10%)、レポート(20%)、定期試験(70%)の結果により総合的に判断します。グループ発表時に各疾患についての解説を行います。定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説します。

### 【使用テキスト】

安藤隆男・藤田継道編著『よくわかる肢体不自由教育』(ミネルバ書房、2015年)(川田)  
授業者が作成した資料を講義テキストとします(磯部)。

### 【参考文献】

篠田達明監修、沖 高司、岡川敏郎、土橋圭子編集『肢体不自由児の医療・療育・教育 改訂3版』(金芳堂、2015年)  
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所著『特別支援教育の基礎・基本 新訂版』(ジヤース教育新社、2015年)  
その他、授業のなかで、適宜紹介します。

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・肢体不自由の概念	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：磯部 健一
2	人間行動の成り立ちと肢体不自由（子どもの正常運動発達）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：磯部 健一
3	身体のしくみとその生理・病理-1（運動器）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：磯部 健一
4	身体のしくみとその生理・病理-2（中枢神経系）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：磯部 健一
5	肢体不自由の原因と主な起因疾患-1（脳・脊髄性疾患）、グループ発表	肢体不自由児の起因疾患である、「脳性麻痺」、「二分脊椎」について、各グループが指定された形式でレポートにまとめ発表する（予習2時間）。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(復習2時間)。	担当：磯部 健一
6	肢体不自由の原因と主な起因疾患-2（筋原性疾患）、グループ発表	「進行性筋ジストロフィー」、「重症筋無力症」について、各グループが指定された形式でレポートにまとめ発表する（予習2時間）。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(復習2時間)。	担当：磯部 健一
7	肢体不自由の原因と主な起因疾患-3（骨関節疾患）、グループ発表	「先天性股関節脱臼」、「ペルテス病」について、各グループが指定された形式でレポートにまとめ発表する（予習2時間）。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(復習2時間)。	担当：磯部 健一
8	肢体不自由と発達の関係（川田）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包、 磯部 健一
9	肢体不自由児の感覚・知覚（川田）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包
10	肢体不自由児の運動・動作	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間)/復習内容(時間)	備考
		する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	
11	肢体不自由児のコミュニケーション-1(基礎的能力、言語の受容と表出など)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包
12	肢体不自由児のコミュニケーション-2(言語の形成と活用、手段の選択と活用など)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包
13	肢体不自由児への心理的支援	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：川田 人包
14	肢体不自由に係わる社会的・制度的課題	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。配布資料を参考にして授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をノート等に記載しておくこと(2時間)。	担当：磯部 健一
15	まとめ：要点の整理・質疑応答	講義内容の要点を資料として配布する。質疑応答を行うのでまとめたノートを持参すること。(予習と復習で各々2時間)	担当：磯部 健一
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU11  
授業形態： 講義  
科目名： 障害児の教育課程と指導法  
担当教員： 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

教育課程は、各学校の教育活動の中核として最も重要な役割を担うものです。授業では、特別支援学校・特別支援学級の教育課程や具体的な指導内容について学ぶとともに、特別な支援を必要とする子どもの個に応じた教育課程や指導の在り方について考察します。なお、毎回使用する「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説」を読み解きやすくするために、用語や基本的内容について、特別支援教育や特別支援教育総論、知的障害児教育、肢体不自由児教育等の内容を復習しながら授業を進めます。本授業科目は「特別支援学校教諭一種免許状」取得に必要な科目です。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：erwgryj）を使用し、課題の提示や資料配付等を行います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

1. 教育課程の編成に関わる法令等を理解することができる。
2. 学習指導要領の内容を理解し、教育課程の編成や教育実践について基礎的な知識を修得することができる。
3. 障害に応じた教育課程や指導法等を理解し、説明することができる。
4. 個別の指導計画を作成することができる。

### 【成績の評価】

予習・復習課題の内容（40%）、小テスト（10%）、定期試験（50%）の成績を総合して評価します。予習・復習課題や小テストは、模範解答を示して授業で講評し、改善のためにフィードバックします。

### 【使用テキスト】

文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）』（開隆堂出版、2018年）

### 【参考文献】

文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』（開隆堂出版、2018年）  
文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編（小学部・中学部）』（開隆堂出版、2018年）  
一木薫著『特別支援教育のカリキュラム・マネジメント』（慶應義塾大学出版会、2022年）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業です。特別支援教育に取り組んできた経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育課程の基準・編成	予習として、シラバスに記載している授業概要や達成目標を理解する。授業内容を確認し、テキストの該当箇所を読み、専門用語の意味を調べてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
2	学習指導要領と基本方針	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
3	知的障害児教育における教育課程の編成と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
4	視覚障害児教育における教育課程の編成と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
5	聴覚障害児教育における教育課程の編成と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
6	肢体不自由児教育における教育課程の編成と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
7	病弱児教育における教育課程の編成と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
8	特別支援学級の教育課程	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
9	重複障害者等を対象とした教育課程	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
10	自立活動の指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
11	特別の教科道徳と特別活動	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
12	社会に開かれた教育課程	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
13	一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程編成の工夫	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
14	就労に向けた教育課程の編成の工夫	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
15	個別の指導計画の作成	予習として、香川県教育委員会特別支援教育課のホームページで、個別の指導計画の記入内容を調べておくこと（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること、提示された期末試験のポイントを確認すること（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU27

授業形態： 演習

科目名： 特別支援教育指導法研究

担当教員： 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka), 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

特別支援学校における教育実習に向けて、特別支援学校の授業形態や指導方法の実際を学ぶとともに、大学において習得した障害特性や環境調整に関する知識や技能を基盤として、特別支援教育の指導形態に応じた学習指導の工夫について演習を通じて学びます。特別支援教育実習において求められる実践力の基礎を培います。

本授業では、ICTを活用してフィールドワークやグループワークの結果をプレゼンテーションし、ディスカッションを行います。ICT端末を携帯して授業へ参加してください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

特別支援教育の実践者として求められる基礎的知識や技能の基盤形成及び実践的技能の習得を目指し、特別支援学校における教育の実際に触れ、学習指導案の作成に求められる基礎的な技能を習得できる。

1. 特別支援教育で用いる学習指導案の特徴について説明することができる。
2. 特別支援教育で用いる学習指導案の様式に従って、指導計画を立案することができる。

### 【成績の評価】

受講態度(30%)、レポート課題(70%)などを総合して評価します。課題や学習の進捗状況に関する評価は、その都度授業時に講評します。また、必要に応じてオフィスアワーにおいて個別にフィードバックします。

### 【使用テキスト】

知的障害教育の「教科別の指導」と「合わせた指導」新学習指導要領を踏まえた19の学習指導要領, 三浦光哉監修編著, ジアース教育新社, 978-4-86371-607-0

### 【参考文献】

必要に応じて、講義内で紹介します。

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	この授業では、後半の学習指導案の学習では、4年生の模擬授業へ参加して実践的理解を図ります。
2	特別支援教育における教育実習のねらい	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
3	特別支援学校（知的障害）の概要と特徴	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
4	特別支援学校(肢体不自由)の概要と特徴	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
5	特別支援学校(病弱)の概要と特徴	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
6	特別支援学校教育の実際（１）(特別支援学校の訪問)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
7	特別支援学校教育の実際（２）(特別支援学校の訪問)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
8	特別支援学校教育の実際（３）(特別支援学校の訪問)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
9	特別支援学校教育の実際（４）(特別支援学校の訪問)	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
10	特別支援教育指導法研究（教育課程と学習指導案）	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
11	特別支援教育指導法研究（幼稚部の学習指導案）	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
12	特別支援教育指導法研究（小学部の学習指導案）	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
13	特別支援教育指導法研究（中学部の学習指導案）	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
14	特別支援教育指導法研究（高等部の学習指導案）	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
15	重要ポイントの確認と整理	予習として、シラバスを確認し、配布資料及び動画を事前に確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定したまとめシートを作成し、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU13  
授業形態： 講義  
科目名： 知的障害児教育  
担当教員： 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

知的障害児教育では、知的障害の特性、知的障害児教育の教育課程、指導や支援の内容・方法、知的障害児教育の今日的課題等について学びます。知的障害児教育には、一人一人の主体的な力の発揮を願う優れた実践方法と教育内容があります。授業の実践記録や事例研究に基づいて指導の実際を学び、知的障害児の実態とニーズに応じた配慮事項について理解を深めましょう。本授業を通じて、特別な支援を必要とする子育てを支えるための理論と実践力を身に付け、豊かな心をもった教師をめざします。本授業科目は「特別支援学校教諭一種免許状」取得に必要な科目です。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：4ayqix2）を使用し、課題の提示や資料配付等を行います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

1. 知的障害の障害特性を理解することができる。
2. 知的障害児教育における教育課程及び指導法の特徴を理解し、説明することができる。
3. 知的障害児教育における指導・支援に必要な知識・技能を身に付けることができる。
4. 知的障害児教育の今日的な課題や特別支援教育の動向について、理解することができる。

### 【成績の評価】

予習・復習課題の内容（40%）、小テスト（10%）、定期試験（50%）の成績を総合して評価します。予習・復習課題や小テストは、模範解答を示して授業で講評し、改善のためにフィードバックします。

### 【使用テキスト】

杉野学、上田正三 編著『はじめて学ぶ知的障害児の理解と指導』（大学図書出版、2020年）

### 【参考文献】

文部科学省『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編（幼稚部・小学部・中学部）』（開隆堂出版、2018年）  
太田俊巳・佐藤慎二『改訂新版 知的障害教育総論』（放送大学教育振興会、2020年）  
玉村公二彦・清水貞夫他編著『新版キーワードブック 特別支援教育』（クリエイツかもがわ、2019年）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。特別支援教育に取り組んできた経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	知的障害児教育と特別支援教育	予習として、授業計画の中から関心のあるテーマを一つ選び、ノートに調べた内容を記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
2	知的障害児の障害特性と配慮	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
3	知的障害を伴う自閉症児に対する教育	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
4	知的障害児教育における教育課程の編成と指導の特徴	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
5	知的障害児教育における教科別の指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
6	知的障害児教育の指導法 日常生活の指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
7	知的障害児教育の指導法 生活単元学習	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
8	知的障害児教育の指導法 遊びの指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
9	知的障害児教育の指導法 作業学習	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
10	知的障害児教育の指導法 自立活動	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	個別の指導計画と個別の教育支援計画	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
12	進路指導とキャリア教育	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
13	個のニーズに応じた授業づくり	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
14	重度・重複障害の理解と指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配付資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
15	インクルーシブ教育	予習として、全ての授業を通じて関心が高かったテーマについて発表できるように、ノート等にまとめること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること、提示された期末試験のポイントを確認すること（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU14  
授業形態： 演習  
科目名： 知的障害児教育演習  
担当教員： 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

知的障害児教育演習は「知的障害児教育」の基礎的な理論の修得に基づき、ディスカッションやグループワークにより履修者同士の実践的な学び合いを重視します。主な内容は、事例検討や教材教具作成、学習指導案の作成、模擬授業です。教師になった自分をイメージしながら演習を行い、指導方法の基礎知識と実践力を身に付けましょう。本授業科目は「特別支援学校教諭一種免許状」取得に必要な科目です。この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：m4logwx）を使用し、課題の提示や資料配付等を行います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

1. 知的障害児に対する教育上の配慮事項について理解し、説明することができる。
2. アセスメントの基礎的な内容を理解することができる。
3. 教科別及び教科等を合わせた指導の学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。
4. 指導内容に応じた教材教具を考え、作製することができる。
5. より良い実践を行うために必要な着眼点とスキルを身に付けることができる。

### 【成績の評価】

授業における発言・質疑応答の内容（30%）、ワークシート・教材教具の完成度（30%）、模擬授業（40%）の成績を総合して評価します。採点したワークシートは次回の授業で返却し、教材教具や模擬授業に関する講評は授業時に行い、改善のためにフィードバックします。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

上野一彦、室橋春光、花熊暁 監修『特別支援教育の理論と実践 概論・アセスメント』（金剛出版、2018年）  
杉野学、上田征三 編著『はじめて学ぶ知的障害児の理解と指導』（大学図書出版、2020年）  
立松英子 著『発達支援と教材教具』（ジアース教育新社、2017年）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。特別支援教育に取り組んできた経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	知的障害児教育と特別支援教育	予習として、「知的障害児教育」で学んだ特別支援教育の考え方や制度について調べ直し、ノート等にまとめること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
2	知的障害児の発達及びアセスメント	予習として、心理検査やアセスメントについて専門書等で調べ、調べた内容をノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
3	知的障害児の学習の特性と支援	予習として、「知的障害児教育」で学んだ知的障害児の学習の特性について調べ直し、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
4	事例検討：「日常生活の指導」における指導・支援	予習として、「日常生活の指導」の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
5	事例検討：「生活単元学習」における指導・支援	予習として、「生活単元学習」の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
6	事例検討：「作業学習」における指導・支援	予習として、「作業学習」の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
7	事例検討：「国語科」「算数科」における指導・支援	予習として、「国語科」「算数科」の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
8	学習指導案の作成と活用	予習として、事前に配布された資料に目を通し、特別支援学校「算数科」の学習指導案（略案）を作成すること（1時間） 復習として、学習指導案を完成させ提出すること（2時間）	
9	知的障害児教育における教材教具の作成・評価：グループA	予習として、教材教具を活用するときのポイントについて、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業時に出た意見等を踏まえ、教材教具を改善すること（1時間）	
10	知的障害児教育における教材教具の作成・評価：グループB	予習として、教材教具を活用するときのポイントについて、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業時に出た意見等を踏まえ、教材教具を改善すること（1時間）	
11	模擬授業「日常生活の指導」模：グループA・B	予習として、模擬授業の略案を作成し、導入部分の工夫事項について説明できるようにしておくこと（2時間） 復習として、自分の模擬授業を振り返り、授業時に出た意見を踏まえ、良かった点や改善	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		点、課題等をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
12	模擬授業 「国語科」「算数科」：グループA	予習として、模擬授業の略案を作成し、導入部分の工夫事項について説明できるようにしておくこと（2時間） 復習として、自分の模擬授業を振り返り、授業時に出た意見を踏まえ、良かった点や改善点、課題等をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
13	模擬授業 「国語科」「算数科」：グループB	予習として、模擬授業の略案を作成し、導入部分の工夫事項について説明できるようにしておくこと（2時間） 復習として、自分の模擬授業を振り返り、授業時に出た意見を踏まえ、良かった点や改善点、課題等をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
14	知的障害児教育における自立活動の指導の実際	予習として、「自立活動」の実践例を文献やインターネットで調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
15	事例検討：自閉スペクトラム症の児童生徒に対する支援の検討	予習として、事前に示された事例を読み、支援の内容等について、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU15  
授業形態： 講義  
科目名： 病弱児教育  
担当教員： 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

病弱児は、特別支援学校や特別支援学級、通常の学級等に在籍しています。近年、子どもの病気は多様化し、心身症やうつ病等の精神疾患、発達障害の二次障害としての行動障害等、心のケアが必要な子どもが増加しています。また、医療的ケアの必要な子どもの学習保障も課題となっています。授業では、「病弱児の心理・病理・生理」の基礎的な理論の修得に基づき、病弱児教育の教育課程や指導・支援の内容や方法について学ぶとともに、医療及び関係機関、家庭との連携・協働における教員の役割について考えます。本授業科目は「特別支援学校教諭一種免許状」取得に必要な科目です。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：dtwiruf)を使用し、課題の提示や資料配付等を行います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	多様な人材との協力・協働	5
		専門的知識と実践力	5

### 【到達目標】

1. 病弱児教育の対象となる疾患について理解し、指導上の配慮事項を説明することができる。
2. 病弱児教育の意義と役割について理解することができる。
3. 病弱児教育の教育課程や適切な指導・支援について理解することができ、実践に必要な知識・技能を身に付けることができる。
4. 医療及び関係機関、家族との連携・協働に関する課題について、意見を述べるすることができる。

### 【成績の評価】

予習・復習課題の内容(40%)、小テスト(10%)、定期試験(50%)の成績を総合して評価します。  
予習・復習課題や小テストは、模範解答を示して授業で講評し、改善のためにフィードバックします。

### 【使用テキスト】

深草瑞世監修、全国特別支援学校病弱教育校長会編著『特別支援学校の学習指導要領等を踏まえた病気の子どものための教育必携』(ジヤース教育新社、2020年)

### 【参考文献】

西牧謙吾監修、松浦俊弥編著『チームで育む病気の子ども』(北樹出版、2017年)  
山本昌邦、島 治伸、滝川国芳編集、日本育療学会編著『標準 病弱児の教育テキスト』(ジヤース教育新社、2019年)  
全国病弱教育研究会編著『病気の子どもの教育入門』(クリエイツかもがわ、2015年)

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。特別支援教育に取り組んできた経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	病弱児教育の対象となる病気の症状	予習として、授業計画の中から関心のあるテーマを一つ選び、ノートに調べた内容と疑問点を記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
2	病弱児の学びの場と教育課程	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
3	教育的ニーズに応じた支援：復学支援、高校生支援	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
4	教育的ニーズに応じた支援：医療的ケア	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
5	教育的ニーズに応じた支援：病気の受容と理解	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
6	通常学級における病弱児への理解と支援	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
7	学習指導要領を踏まえた指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
8	心身症・精神疾患の子どもの自立活動	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
9	I C T 機器の活用の意義と活用事例	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
10	体験的な活動における指導方法の工夫	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育機会の保障	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
12	ベッドサイド教育、病院への訪問による指導	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
13	進路指導とキャリア教育	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
14	特別支援学校のセンター的役割	予習として、授業内容を確認し、テキストの該当箇所や配布資料を読むとともに、専門用語の意味を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること（2時間）	
15	医療及び関係機関、家族との連携・協働	予習として、全ての授業を通じて関心が高かったテーマについて説明できるように、ノート等にまとめること（2時間） 復習として、授業内容に関する課題をレポートにまとめ、提出すること、提示された期末試験のポイントを確認すること（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU12  
授業形態： 演習  
科目名： 病弱児教育演習  
担当教員： 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

病弱児教育では、疾病や治療の多様性の理解、治療形態に応じた個別の対応が求められています。授業では「病弱児の心理・生理・病理」及び「病弱児教育」の基礎的な理論の修得に基づき、ディスカッションやグループワークにより履修者同士の実践的な学び合いを重視します。主な内容は、病弱児の実態に応じた支援の内容・方法についての考察、ICTを活用した教育活動の体験や学習活動の制限を考慮した教材教具の作成、事例検討です。病弱児は、どの子どもも学びたいという意欲があり、学ぶ力をもっています。子どもたちが笑顔で安心して学ぶことができる病弱児教育について、理解を深めましょう。  
この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：iazdmwz）を使用し、課題の提示や資料配付等を行います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	多様な人材との協力・協働	5
		専門的知識と実践力	5

### 【到達目標】

1. 病弱児に対する教育上の配慮事項について理解し、説明することができる。
2. 病弱児教育の教育課程を理解し、学習指導案を作成することができる。
3. 学習の空白や活動の制限を考慮した教材教具を考え、作製することができる。
4. ICTを活用した教育活動を体験し、ICTの有用性について説明することができる。
5. 演習を通して、より良い実践を行うために必要な着眼点とスキルを身に付けることができる。

### 【成績の評価】

演習における発言・質疑応答の内容（30%）、ワークシートの完成度（30%）、模擬授業や体験学習の成績（40%）、を総合して評価します。  
採点したレポートは次回の授業時に返却し、模擬授業等の内容は授業時に教員から講評を受けることでフィードバックを行います。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

丹羽登監修、全国特別支援学校病弱教育校長会編著『病弱教育における各教科等の指導』（ジヤース教育新社、2015年）  
深草瑞世監修、全国特別支援学校病弱教育校長会編著『特別支援学校の学習指導要領等を踏まえた病気の子どものための教育必携』（ジヤース教育新社、2020年）  
西牧謙吾監修、松浦俊弥編著『チームで育む病気の子ども』（北樹出版、2017年）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。特別支援教育に取り組んできた経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	病弱児教育の現状と課題	予習として、病弱児教育の現状について最新情報を調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
2	発達障害のある子どもや不登校の子どもの理解と支援	予習として、不登校の子どもの支援の現状について最新情報を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
3	医療的ケアが必要な子どもの教育	予習として、医療的ケアが必要な子どもの支援の現状について最新情報を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
4	病弱児教育における教科指導	予習として、病弱児教育における教科指導の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
5	病弱児教育における自立活動	予習として、病弱児教育における自立活動の実践例を文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
6	個別の指導計画と個別の教育支援計画	予習として、病弱児教育における個別の指導計画について文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
7	事例検討：小児がんの児童生徒の支援の検討	予習として、事前に示された事例を読み、支援の内容等について、自分の意見をノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
8	食べる機能に障害がある子どもの摂食指導の体験	予習として、特別支援学校における摂食指導の実践例について調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、体験で得た気付きや学んだこと等についてワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
9	事例検討：不登校の児童生徒の支援の検討	予習として、事前に示された事例を読み、支援の内容等について、自分の意見をノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
10	ベッドサイドでの授業で使用する教材教具の作成	予習として、ベッドサイドで使用する教材教具例を文献やWeb等で調べ、作成すること（2時間） 復習として、授業時に出た意見等を踏まえ、教材教具を改善すること（1時間）	
11	模擬授業：グループA	予習として、模擬授業の略案を作成し、導入部分の工夫事項について説明できるようにしておくこと（2時間） 復習として、自分の模擬授業を振り返り、授業時に出た意見を踏まえ、良かった点や改善	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		点、課題等をワークシートにまとめ、提出すること（2時間）	
12	模擬授業：グループB	予習として、模擬授業の略案を作成し、導入部分の工夫事項について説明できるようにしておくこと（2時間） 復習として、自分の模擬授業を振り返り、授業時に出た意見を踏まえ、良かった点や改善点、課題等をワークシートにまとめ、提出すること（2時間）	
13	I C T 機器を活用した教育活動の体験	予習として、病弱児教育におけるI C T 機器の活用例について文献やWeb等で調べ、ノートに記載すること（1時間） 復習として、体験で得た気付きや学んだこと等についてワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
14	事例検討：家族支援の検討	予習として、事前に示された事例を読み、支援の内容等について、自分の意見をノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
15	事例検討：関係機関との連携	予習として、事前に示された事例を読み、連携の仕方等について、自分の意見をノートに記載すること（1時間） 復習として、授業内容に関する課題をワークシートにまとめ、提出すること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU17  
授業形態： 講義  
科目名： 肢体不自由児教育  
担当教員： 川田 人包(KAWATA Hi tokane)

### 【授業の紹介】

肢体不自由児の教育・保育や療育について、基礎・基本を学びます。重度・重複・多様化した肢体不自由児を正しく理解し、必要とされる様々な視点や実践的な指導・支援につながる内容を提供します。また、肢体不自由児に係る今日的な課題について、障がいの重度・重複、多様化等との関連から整理し、自立活動や個別の指導計画等の理念と実践に関わる基礎的概念を深めます。幼児児童生徒一人ひとりの心と身体に対する理解が深まるように共同体験等を通して、バリアフリーやユニバーサルデザインに向けた教育や福祉の推進者としての見識を高めることを目指します。なお、本授業科目は、課題の提示やレポート提出にあたり「Google Classroom」を活用します。クラスコードは、「hv7e6mp」です。事前に登録しておいてください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

肢体不自由児の正しい理解に努め望ましい指導や支援に向けた基礎・基本的な学びを通し、幼児児童生徒一人ひとりに対する効果的な指導法や環境づくり、教材教具の活用等を習得することをめざします。多様なニーズに応じた望ましい支援に繋げるために以下の項目を到達目標とします。  
障がいについてICFを基に理解する。  
子どもの発達や障がい特性に応じた個別の対応の基本を理解する。  
合理的な配慮など環境設定のあり方について提案することができる。  
連続した偏りのない支援に向けて「個別の教育支援計画」等の作成と活用を理解する。  
親の障害受容や関係機関との連携・協働について説明できる。

### 【成績の評価】

主体的な受講態度（30%）、レポート（30%）、小筆記試験（40%）を総合して成績を評価します。課題解決を図る小筆記試験並びにレポートについては、適宜授業のなかでフィードバックを行います。

### 【使用テキスト】

「よくわかる肢体不自由児教育（第2版）」安藤隆男・藤田継道編著 ミネルバ書房 2022年

### 【参考文献】

必要な文献や論文については授業のなかで適宜紹介します。

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が特別支援教育に取り組んできた経験を活かして、肢体不自由児教育の実践的な方法や内容を解説します。また、様々なワークを通して学びます（共同体験）。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
2	肢体不自由児の教育 - 歴史と現状 -	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
3	脳性まひ児等の肢体不自由疾患による特性	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
4	肢体不自由児の運動発達と課題	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
5	肢体不自由児の心理発達	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
6	特別支援学校や特別支援学級における教育の実際（積極的な行動支援）	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
7	教育課程編成の基本と授業づくり（PDCAサイクル）	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
8	身体の動きの指導や支援	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
9	コミュニケーションの指導や支援	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
10	各教科・領域の指導や支援の関係性	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
11	重度・重複障がい児の理解と指導 - 重篤な医療的ケア対象児含 -	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
12	自立活動と「個別の指導計画」	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
13	教材教具を活用した発達支援 - ICT等の福祉支援機器 -	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
14	肢体不自由児のキャリア教育	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
15	新たな取組と今後の課題 - 権利擁護と社会生活 -	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を貼り付けるので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、資料の要約をノートに記載すること（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、他者に授業内容が説明できるように要約して記載すること（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOJU18  
授業形態： 演習  
科目名： 肢体不自由児教育演習  
担当教員： 川田 人包(KAWATA Hitokane)

### 【授業の紹介】

「肢体不自由児教育演習」は、「肢体不自由児教育」や「肢体不自由児の心理・生理・病理」で学んだ基礎・基本を基盤にして、肢体不自由児個々の実態把握に基づいて展開される具体的な指導法や評価のあり方等を学ぶために設けられた科目です。特に、本演習では教育心理学的なアプローチ等を通して、障がいのある幼児児童生徒たちが心と身体を整える具体的な方法や望ましい指導・支援のあり方を学びます。また、肢体不自由児が安心して学べる環境づくりや合理的な配慮についても事例を通して検証します。なお、本授業科目は、課題の提示などで「Google Classroom」を活用します。クラスコードは、「axnmzt4」です。履修する場合、事前に登録しておいてください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

1. 一人ひとりの肢体不自由児に対する関係機関（医療・福祉・労働等）との連携と協働を理解し、「個別の教育支援計画」を作成して活用することができる。
2. 一人ひとりに基づく「実態把握 指導・支援 評価 改善 引継」といった継続性や連続性を備えた偏りのない授業づくりにむけて「個別の指導計画」を作成して実践できる。
3. 「自立活動」で活用されている指導法や理論等を学び、肢体不自由児教育に携わる教員として専門的な知識や技術を身につけることをめざす。

### 【成績の評価】

演習への参加態度（30%）や習熟度（40%）、レポート等（30%）を総合して成績を評価します。なお、習熟度につきましては、事例検討会や運動・動作を用いた実技指導を通してフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「障害者のための絵でわかる動作法2 自立活動へのはじめの一步」宮崎昭、村主光子、田丸秋穂、杉林寛仁、長田実著 福村出版 2018年

### 【参考文献】

必要な文献や論文については、授業のなかで適宜紹介します。

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が特別支援教育に取り組んできた臨床経験を活かして、肢体不自由児教育の実践的な方法や内容を解説しますので、共体験を通して学びます。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	1回目のオリエンテーションは308講義室で行います。
2	I E Pの理念と実践 - 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」 -	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
3	肢体不自由児教育における「自立活動」等の計画・実践・評価・改善	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
4	自立活動における指導法の紹介（実践で役立つ指導法）	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
5	自立活動における指導法（身体の動き1）リラクゼーション	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
6	自立活動における指導法（身体の動き2）座位	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
7	自立活動における指導法（身体の動き3）膝立ち位	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
8	自立活動における指導法（身体の動き4）立位・歩行	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。 専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用し	心理学実験室で授業を実施

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		て、学んだことを要約して記載すること（1時間）	
9	肢体不自由児教育における指導法（授業づくり1）姿勢保持・姿勢変換・移動	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
10	肢体不自由児教育における指導法（授業づくり2）身体の動きやコミュニケーションの指導と評価	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
11	肢体不自由児教育における指導法（授業づくり3）外部専門家の導入と連携	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	心理学実験室で授業を実施
12	事例検討会 ～個別事例（脳性まひ児）への指導・支援の検討	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
13	事例検討会 ～個別事例（重症児）への指導・支援の検討	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
14	事例検討会 ～発達障害児などへのアプローチや環境設定の工夫	「Google Classroom」を活用して、事前に授業資料を提示しておくので、次のように予習をおこなう。専門用語の意味を調べノートに記載、心理リハビリの動画を視聴する（1時間） 復習は、ワークシート（ノート）を活用して、学んだことを要約して記載すること（1時間）	308講義室
15	評価授業	総括を実施する	心理学実験室で評価授業を実施
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU19  
授業形態： 講義  
科目名： 視覚の発達と障害  
担当教員： 恵羅 修吉(ERA Shukichi)

### 【授業の紹介】

目が見える人にとって、目が見えない人の経験する世界を想像することはとても難しいことです。目が見えている私たちは、「見える」ということを子どもの時から当たり前のこととして経験してきました。当たり前のように存在している「見え」の世界。しかしながら、私たちは経験としては気づいていませんが、「見え」の世界は子どもから大人になるについて少しずつ変化しているのです。この授業では、「見え」の発達について、いろいろな事例や研究を通して基礎的な知識を提供することをめざします。さらに、目が見えない、あるいは目が見えにくいといった視覚障害について解説します。講義を通して、視機能に困難のある子どもにとって望ましい成長・発達を支援するための専門的知識と技能の獲得と、実践的能力の基礎となる知見の獲得を目指します。

本授業は「特別支援学校教諭免許」に必要な科目です。視覚障害のある子どもの理解と教育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識を教育や支援の実践で活かせるように自ら多様な情報を収集・分析することで、将来にわたり継続的に学ぶ姿勢を身につけていきます。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	思考力・判断力・表現力	5
		専門的知識と実践力	5

### 【到達目標】

1. 視覚の成立に関わる生物学的構造について理解できる。
2. 視覚認知に関わる検査について、その意義を説明することができる。
3. 視機能に困難を有する子どもの心理特性について理解し、配慮点について説明できる。
4. 視覚障害教育の歴史と現状について理解できる。

### 【成績の評価】

評価は、授業中の小レポート（40%）、期末レポート（60%）とします。小レポートについては、次回の授業時に全体的に講評を加えます。期末レポートについては、Google Classroomで個別にフィードバックします。

### 【使用テキスト】

特にありません。参考文献を参照してください。

### 【参考文献】

香川邦生・千田耕基（編）『小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援』（教育出版，2009年）  
香川邦生（編）『四訂版 視覚障害教育に携わる方のために』（慶應義塾大学出版会，2010年）

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	自分自身の視力や見えの特徴に関して振り返るをしてみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
2	視覚の構造 1：眼から脳まで	授業で紹介する資料を参照して、眼の基本的なメカニズムについて復習しましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
3	視覚の構造 2：高次脳機能	授業で紹介する資料を参照して、視覚に関わる脳の基本的なメカニズムについて復習しましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
4	視覚検査 1：視力検査	視力検査に関わる情報を調べてみましょう。弱視の定義を確認しておきましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
5	視覚検査 2：眼位検査	斜視に関する情報を調べてみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
6	視覚検査 3：色覚検査	自分の色の見え方を振り返ってみましょう。色覚障害に関するサイトを確認してみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
7	視覚検査 3：その他の検査	見えに関わる検査を調べてみましょう。複数の検査について確認してください。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
8	視覚障害児の心理学的特性 1：聴覚で世界を探る	聴覚を使って空間認知をすることを自ら試してみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
9	視覚障害児の心理学的特性 2：触覚で世界を探る	触覚・触運動感覚を使って空間認知をすることを自ら試してみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	視覚障害児の心理学的特性3：空間認知	より大きな空間（地図など）を認知することは、目が見えていても難しさがあります。どのような困難があるか、調べてみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
11	視覚障害児の心理学的特性4：音声言語の発達	ヘレン・ケラーの言語獲得について調べてみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
12	視覚障害児の心理学的特性5：視覚言語（点字を含む）の発達	点字の構成について調べてみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
13	視覚障害に対応した支援機器の活用	視覚障害に対応した支援機器についてネット検索してみましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
14	視覚障害児教育の歴史と展開	日本における障害児教育の歴史的展開を調べてみて、視覚障害児教育の位置づけを把握しておきましょう。（2時間） 授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。（2時間）	
15	授業のまとめ：視覚障害教育の過去と未来	授業期間中に報道される新聞、雑誌、Web上での視覚障害に関連したニュースを閲覧し、その話題に関連する情報を検索するようにしましょう。調べた結果をまとめて、レポートを作成してください。（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU20  
授業形態： 講義  
科目名： 聴覚障害教育総論  
担当教員： 川合 紀宗(KAWAI Norimune)

### 【授業の紹介】

聴覚障害のある幼児児童生徒に対する教育的支援に必要な制度や実践的側面、心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項の知識を体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解するなど、聴覚障害教育の在り方について幅広く学習します。

なお、現在のところ対面での実施を予定していますが、オンラインで実施することになった場合、ネットにつながるマイクカメラ付きのパソコンが各自必要となります。

自分で用意できる人は自宅で受講してください。用意が出来ない人は、大学にて演習室を開放するよう依頼いたします。オンライン受講の際、授業中カメラはONにしておいてください。

<卒業認定・学位授与の方針における関連項目>

2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

<学修成果における関連項目>

教育・保育に関する知識を幅広く体系的に理解し、その知識を基盤として教育・保育の実践を行うことができる。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

- ・聴覚障害教育について考える際に基盤となる事項について、基礎的な知識を身につけることができる。
- ・聴覚障害教育の実際について、幼児児童生徒の発達段階を追い、具体的に教育の内容と方法を理解することができる。
- ・聴覚障害の心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項を理解することができる。
- ・聴覚障害教育の望ましいあり方について主体的に考え、話し合うことができる。

### 【成績の評価】

授業中の積極的な参加（質疑応答、グループワーク等：40％）と課題レポートの内容（60％）によって評価します。 については、受講者の発言・応答内容やグループ発表に対して口頭や記述による質的評価を行います。 については、授業内容の理解度をレポートの記述内容から分析し、量的評価を行います。評価後、採点結果やコメントを返します。

### 【使用テキスト】

ありません。必要に応じて講義資料を配付します。

### 【参考文献】

四日市章・鄭 仁豪・澤 隆史・ハリイ・クノールス・マーク・マーシャーク編「学習と指導 発達と心理学的基礎」(明石書店、2018年)  
我妻敏博「改訂版 聴覚障害児の言語指導 実践のための基礎知識」(田研出版、2011年)  
脇中起余子「聴覚障害教育 これまでとこれから:コミュニケーション論争・9歳の壁・障害認識を中心に」(北大路書房、2009年)

### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

米国の公立学校や子ども病院、大学に勤務し、言語障害臨床や言語臨床スーパーバイズを行った経験のある者が実務経験にもとづく具体例を紹介し、実践的な学びになるように指導しています。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	聴覚障害教育の歴史的展開		
2	聴覚障害の心理・生理・病理		
3	特別支援教育における聴覚障害		
4	聴覚障害教育の教育課程		
5	聴覚障害教育とコミュニケーション方法		
6	聴覚障害児に対する自立活動		
7	聴覚障害児の教科学習と読み書き能力		
8	通常の学級で学ぶ聴覚障害児		
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： TOKU21  
 授業形態： 講義  
 科目名： 重複障害教育総論  
 担当教員： 落合 俊郎(OCHIAI Toshiro)

### 【授業の紹介】

特別支援学校教育の中でも重度でかつ複数の障害をあわせもった子どもたちの教育を知り、教育者に求められる知識に加え、使命感と倫理観も培います。まず、重複障害児教育の歴史をさかのぼり、ヘレン・ケラーに始まる盲ろう二重障害の教育方法を学び、点字、手話、発話へと、どのように教育したのか学習します。1979年の養護学校義務制実施以降、感覚障害だけでなく、知的障害、肢体不自由、病弱をあわせもつ重複障害の子どもが多くなりました。このような児童生徒に対する授業の展開、さらには学習指導要領の新旧の違いについて説明します。また、たんの吸引、経管栄養、胃ろう等の医療的ケアが必要な子どもたちへの対応と実践についても学びます。国連障害者の権利条約批准後、重複障害のある子どもたちの合理的配慮についても説明します。重複障害のある児童生徒に寄り添った豊かな人間性をはぐくみ、授業の内容に対して積極的かつ主体的に意見の発表を行う授業を行います。さらに重複障害のある児童生徒の教育の課題を明らかにし、その課題を解決する力を身につけ、特別支援学校の教員になる前にボランティア等で社会に貢献する気づきを養います。授業で修学した専門的知識や技能を生かし、特別支援学校での実践的能力を培います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	向上心	4
		思考力・判断力・表現力	3
		専門的知識と実践力	3

### 【到達目標】

令和4年11月現在、特別支援学校の小学部に在籍する複数の障害を合わせ有する児童の割合は33.2%、中学部内では29.6%、高等部では17.6%在籍している。これら重複障害児の教育について、盲ろう二重障害児教育に始まる歴史をさかのぼり、知的障害、肢体不自由、病弱をあわせもつ重複障害児の心理、生理及び病理の特徴と授業の展開及び学習指導要領の内容を理解する。さらに、医療的ケアが必要な子どもたちへの対処方法と実践方法を身につける。重複障害児の教育における課題を明らかにし、解決するための合理的配慮の具体的例とカリキュラム・マネジメントによる教育ならびに保護者支援の方法についても理解する。そして、教育者に必要な知識、使命感と倫理観を培う。授業の内容に対して積極的かつ主体的に意見の発表を行って授業に参加する。そして、教員になる前にボランティア等で社会に貢献することの重要性に気付く。

### 【成績の評価】

授業の参加状況(20%)と試験(80%)の結果により総合的に評価します。授業の参加状況については、出席だけでなく、学生と教員との意見のやり取り、質疑応答等の内容も評価対象とします。試験については、授業中の直前の振り返りをした後、模範解答についてはGoogle Classroomに掲載し、学生からの質疑に対して丁寧な回答・指導を行います。Google Classroomで毎時間、感想と質問を記載するようにします。Google Formによる教員とのやり取りも評価の対象にします。

### 【使用テキスト】

文部科学省(2018)特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)開隆堂 本体159円+税

**【参考文献】**

授業の中で必要な資料を配布します。広島県立福山特別支援学校発行の自立活動のガイドラインを紹介し  
ます。授業開始前に授業内容を知りたい方はGoogle Classroomにログインしてください。クラスコード  
は2oio5gです。

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

国立特別支援教育総合研究所では重複障害教育研究部に所属し、盲ろう二重障害児と重度・重複障害児  
の教育相談を行った。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	重複障害の定義とその心理、生理及び病理について	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。クラスコードは2oio5gです。授業で紹介した動画等がGoogle Classroomに入っているのので、これをもとに復習してください。	
2	重複障害のある児童生徒の行動特性と合理的配慮について	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。特に重複障害児の発達と定型発達の違いに注目してください。Google Classroomに授業で紹介した動画等が入っているのので、これをもとに復習してください。	
3	重複障害のある児童生徒の指導法と教育課程：カリキュラム・マネジメントに則った実践と教育	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。Google Classroomに授業で紹介した文献等が入っているのので、これをもとに復習し教育実習時にどうするかイメージしてください。	
4	重複障害のある児童生徒の指導方法と教育課程：肢体不自由と重度知的障害と病弱の重複事例の紹介	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。Google Classroomに授業で紹介した文献等が入っているのので、これをもとに復習し教育実習時にどうするかイメージしてください。	
5	重複障害のある児童生徒の指導方法と教育課程：肢体不自由と重度知的障害と病弱の重複事例の紹介	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。Google Classroomに授業で紹介した文献等が入っているのので、これをもとに復習し教育実習時にどうするかイメージしてください。	
6	重複障害のある児童生徒の指導方法と教育課程：盲とろうが重複した事例の紹介	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。Google Classroomに授業で紹介した動画等が入っているのので、これをもとに復習してください。	
7	重複障害のある児童生徒の指導方法：医療的ケアと保護者支援について	授業開始前にGoogle Classroomにログインして予習してください。特に肢体不自由や病弱特別支援学校での実習で医療的ケアの実際を見ることがあります。Google Classroomに授業で紹介した動画等が入っているのので、これをもとに復習してください。	
8	重複障害教育の将来について：他領域に及ぼす可能性について	授業に関連する資料・動画等をGoogle Classroomに入れてあります。これをもとに重複障害児だけでなく、介護、特に要介護4や5の高齢者への介護支援に参考となる可能性等について考えてみよう。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： TOKU22  
授業形態： 講義  
科目名： LD等教育総論  
担当教員： 井上 とも子(INOUE Tomoko )

### 【授業の紹介】

発達障害、主にLD・ADHD・高機能自閉症スペクトラム障害の様態を説明し、その様態に応じた支援のあり方、特に教育的支援について例や動画によって学校で起こっている実態と合わせて述べる。内容は、発達障害の定義とともに教育的支援の方向性を示し、支援方法をPDCAサイクルに法って、アセスメントについてその必要性から解説する。この中では標準化された発達検査についても触れ、発達障害児の学校内の様態についての理解が進むようにまた、支援の必要性についても語る。発達障害を代表する3つについて学習上の特性に応じた指導・支援方法を論じた後、問題行動に関してどのような行動かを動画によって対応方法と共に説明する。後半は、就学先の選択や通級による指導のあり方、通常の学級における発達障害児の合理的配慮についても話を広げ、グループ協議の形で、発達障害児に関わる学校内で起こりやすい課題の理解や、その解決について話し合いや発表を通して、学びを深化させる。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	2. 教育・保育に必要な知識を幅広く体系的に理解するとともに、その知識体系を教育・保育の実践と関連づけて理解できている。
		3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	発達科学部	専門的知識と実践力	10

### 【到達目標】

1. 幼児期と小学校期の発達障害の様態を理解することができる。
2. 児が起こす行動の意味を知り、特性と行動の意味にあった支援・指導の方法を知ることができる。
3. 教育課程上の発達障害の取り扱いと就学措置に関する事項を理解し、通常の学級における特別支援教育のあり方全般の知識を修得することができる。

### 【成績の評価】

定期試験（70％）レポート（30％）  
レポートについては、読んだ後、コメントをつけて返す。成績評価の不明な点についての質問には、十分な説明を行う。授業中の発表についてはその内容と態度を評価に加味する。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

小島道生・宇野宏幸・井澤信三編著『発達障害の子がいるクラスの授業・学級経営の工夫』明時図書（2008）  
小野次郎・上野一彦・藤田継道編『よく分かる発達障害』第2版ミネルヴァ書房（2010）  
日本LD学会編『発達障害事典』（2016）  
文部科学省ホームページ内、「発達障害」を検索し、各自資料とすること

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育分野の3つの発達障害とは	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間） 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
2	ICFと将来を見据えた支援のあり方	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間） 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
3	発達障害の教育（1）LDの様態と支援のありかた	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間） 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
4	学校におけるADHD児の実態と理解	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間） 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
5	発達障害の教育（2）ADHDの様態と支援のあり方	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間） 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
6	発達障害の教育（3）ASDの様態と支援のあり方	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく＜計15時間＞ 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
7	実態把握 - 学校教育と発達障害児に関するアセスメントのあり方 -	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく＜計15時間＞ 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
8	インクルーシブ教育と合理的配慮	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく＜計15時間＞ 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
9	通常の学級内における特別支援教育の在り方	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく＜計15時間＞ 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間） 3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間） 4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）	
10	問題行動の意味と対策	1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく＜計15時間＞ 2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）</p> <p>3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）</p> <p>4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	
11	<p>特別支援養育コーディネーターの役割と校内支援体制の構築 教師間連携</p>	<p>1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間）</p> <p>2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）</p> <p>3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）</p> <p>4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	
12	<p>実践的支援方法（1）支援についての実践的方法</p>	<p>1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間）</p> <p>2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）</p> <p>3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）</p> <p>4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	
13	<p>実践的支援方法（2）通常の学級内における配慮はどうあるべきか</p>	<p>1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間）</p> <p>2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）</p> <p>3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）</p> <p>4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	
14	<p>保護者支援の在り方・通級による指導とは</p>	<p>1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間）</p> <p>2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）</p> <p>3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）</p> <p>4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	<p>まとめ（これまでの講義にかかる質問・応答、課題に応じたレポート作成と発表）</p>	<p>1 第1回目の授業までに発達障害児関連の書籍を数冊読み、疑問点をまとめておく（計15時間）                  2 授業前半、8時間が終わったところで関心のある発達障害児を取り上げ、支援方法に関わる書籍を読んで、例「ADHDの支援方法」と題したレポートを作成する（計10時間）                  3 第8回目までの授業を振り返り、第9回目の授業の際に「ICFと自身が考える支援」のレポートを提出する（計10時間）                  4 15回の授業と授業資料を基に「発達障害について」と「通常学級の中の特別支援教育について」分かったことをレポートにまとめ、提出する（計15時間）</p>	
	<p>定期試験(実施する)</p>		

科目ナンバリング： JISS11

授業形態： 実習

科目名： 特別支援教育実習（事前事後指導を含む）

担当教員： 山口 明乙香(YAMAGUCHI Asuka), 堺 るり子(SAKAI Ruriko)

### 【授業の紹介】

本授業は、「特別支援教育指導法研究」を受講しており、特別支援学校教諭免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）を取得する学生を対象としています。一定期間特別支援学校において、指導教員の指導を受けながら特別支援学校の実際について体験し学びます。

併せて、教育実習を円滑に、より効果的にその目的を達成させるために、実習の前後に講義・演習を行います。事前指導では、学習指導案の作成及び模擬授業の実施を行い、実践力の基盤を固めます。また特別支援教育実習の概要や実習の心得等の理解を深め、課題をもって実習に取り組みできるようにしていきます。この特別支援教育実習及び事前事後指導を通じて、チームティーチングが求められる特別支援教育現場で求められる周囲との協調や協働する態度や姿勢を身に付け、教員として求められる使命感や倫理観を育みます。

本授業では、ICTを活用して、フィールドワーク、グループワークの結果をプレゼンテーションし、ディスカッションを行います。ICT端末を携帯して授業へ参加してください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	発達科学部	3. 子どもの育ちを支えるために必要な教育・保育の実践力を有する。
		4. 子どもとはもちろんのこと、保護者や子育てに関わる人々と十分なコミュニケーションをとることができ、また、多様な専門性を持つ人材と協力・協働できる。
		5. 子どもの教育・保育にかかる諸問題を自ら発見し、その問題を解決することができる。
		6. 教育・保育に関する多様な情報を収集・分析して、論理的な思考力と創造力を用いて適切に判断できる。
		7. 教育・保育に係る資質向上に向けて継続的に学ぶ能力を持っている。

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	発達科学部	使命感・倫理観	3
		向上心	2
		専門的知識と実践力	3
		自己研修力	2

### 【到達目標】

1. 特別支援教育の実践者として求められる専門性を理解し、必要な知識を習得することができる。
2. 子どもの実態把握、指導計画の作成・実践・記録・評価を通して、基本的な指導技術を習得することができる。

### 【成績の評価】

事前・事後学習の活動状況（40%）、実習（40%）、報告会での発表（20%）を総合的に評価して、単位を認定します。課題や学習の進捗状況に関する評価はその都度授業時に講評します。また必要に応じてオフィスアワーにおいて個別的にフィードバックします。

### 【使用テキスト】

本学作成『特別支援教育実習の手引き』

### 【参考文献】

必要に応じて適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	事前・事後指導における資料作成、教育実習中の学習指導案の作成、実習日誌の記入など、かなりの自主学習の時間が必要となります(3時間)。また、事前に特別支援学校の授業参観やボランティア活動に積極的に参加して(計4時間以上)、障害理解に努めてください。
2	教育実習の流れと意義理解	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<教育実習の準備と実習生の姿勢>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
3	教育実習の意義・目的・内容等	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習における学習目標の作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
4	特別支援学校の実態	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習校の概要シート>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
5	特別支援学校の幼児児童生徒の理解 <障害特性と支援の工夫とポイント>	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<障害特性と支援の工夫とポイント>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
6	特別支援学校の幼児児童生徒の理解 <障害特性と学習環境設定とアプローチ>	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<障害特性と学習環境設定とアプローチ>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
7	教育実習の意義、目的、内容等について	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習計画>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	特別支援学校の実態、幼児児童生徒の理解	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<配属先の児童の実態>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
9	特別支援学校の教育課程、指導の実際	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<配属先の教育課程と指導の工夫>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
10	学習指導案の作成<下書きチェック>	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業指導案の下書き>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
11	学習指導案の作成<修正チェック>	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業指導案の作成と教材作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
12	学習指導案の作成<最終調整>	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業指導案の修正と教材作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
13	模擬授業の実施と反省	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業の実施と反省点と改善点>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
14	模擬授業の実施と反省	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業の実施と反省点と改善点>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
15	模擬授業の実施と反省	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<模擬授業の実施と反省点と改善点>について、クラスルームの課題提出機能を使用し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		て提出してください(0.5時間)。	
16	実習の事前準備と心得及び直前指導(日誌等の書き方、挨拶、自己紹介等)	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習の留意事項のまとめ、自己紹介の原稿作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
17	特別支援教育実習(2週間)における事前訪問指導	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習先オリエンテーション報告書の作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
18	実習校の概要と教育課程の理解	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<研究授業案シートの作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
19	幼児児童生徒の理解と実習生の関わり	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習計画と準備物の整理シート>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
20	授業参観と授業参加	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<授業参観記録のまとめ>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
21	実地授業の準備と実施	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実地授業記録のまとめ>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
22	研究授業の準備と実施	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<研究授業指導案の作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
23	研究授業の反省会	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<研究授業の反省点と改善点>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
24	事後指導のオリエンテーション	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<事後指導の計画シート>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
25	実習内容のまとめと反省	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<報告書作成用学習指導案の加筆>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
26	実習成果の報告書作成	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習成果報告書の作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
27	実習成果の報告書作成	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習成果報告書の修正>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
28	実習成果の報告書作成	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習成果報告会の発表資料作成>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
29	特別支援教育実習報告会	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習報告会の感想シート>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	
30	実習評価のフィードバック	予習として、シラバスを確認し、実習の手引きの該当する頁を確認しておくこと(0.5時間)。復習としてGoogleクラスルームへ配布された授業資料を再度読み直し、指定した課題<実習評価と今後の抱負>について、クラスルームの課題提出機能を使用して提出してください(0.5時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施しない)		